

令和3年度第1回西予市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和3年11月22日(月) 午後3時30分から午後4時27分まで
西予市教育保健センター 4階 大ホール

2 出席した構成員

西予市長	管 家 一 夫
西予市教育委員会	
教育長	松 川 伸 二
教育委員	古 谷 和 彦
教育委員	酒 井 郁 子
教育委員	梅 川 俊 一
教育委員	木 下 弘 規

3 会議に出席した職員

(教育委員会事務局)

教育総務課長	山 崎 徳 博
学校教育課長	滝 澤 洋
生涯学習課長	竹 内 克 之
スポーツ・文化課長	浅 井 裕 史
明浜教育課長	大 中 規 至
野村教育課長	土 居 文 人
城川教育課長	伊 井 健 一
三瓶教育課長	滝 野 広 明
教育総務課長補佐	原井川 英 一
教育総務課主任	稲 口 智 博

(市長部局)

総務部長	山 住 哲 司
まちづくり推進課長	長 野 静 香
総務課長補佐	麓 寿 春

4 傍聴者

2名

5 協議事項

- (1) 公民館の地域づくり活動センターへの移行について
- (2) 老朽化した学校施設の対応について
- (3) その他

6 協議の内容

山崎課長	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和3年度第1回西予市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>初めに管家市長からあいさつをいただきます。</p>
管家市長	<p>皆様、本日はご多用のところ、令和3年度第1回西予市総合教育会議にご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>また、当市の教育行政の推進につきまして、格別のご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日は、「公民館の地域づくり活動センターへの移行について」、「老朽化した学校施設の対応について」の協議事項と、その他のところでいろいろとご意見をいただければと思っております。</p> <p>地域づくり活動センターにつきましては、本年6月に「西予市地域づくり活動センター市民検討委員会」から答申をいただき、8月から市内の27地区で開催しております市政懇談会において、市民の皆様にご説明をさせていただき、様々なご意見をいただいているところです。本日の会議でいただいたご意見等につきましても、今年度末までに策定する「西予市地域づくり活動センター推進計画」の参考にさせていただければと思っております。</p> <p>さて、この会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置される会議であり、本日は先ほど申しました公民館の地域づくり活動センターへの移行や老朽化した学校施設の対応など、当市の教育や文化の振興を図るための重点的な施策につきまして、活発な意見交換ができる場になりますよう、よろしくご挨拶申し上げます、私の開会のご挨拶といたします。</p>
山崎課長 松川教育長	<p>続きまして、松川教育長があいさつを申し上げます。</p> <p>教育委員会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>管家市長におかれましては、大変ご多忙な中、総合教育会議を開催いただき、誠にありがとうございます。</p>

山崎課長	<p>また、日頃より当市教育行政の推進に関しまして、格別のご理解、ご支援いただいていること、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、この総合教育会議は、市長と教育委員会が一堂に会して、本市の教育行政の諸課題を共有し、協議・調整する大変重要な会議と認識しております。</p> <p>本日の協議事項の一つとなっております「公民館の地域づくり活動センターへの移行について」は、未来の西予市の在り方を見据えた中で、市の最重要施策として、市と教育委員会が一体となりまして、市政懇談会等により、市民の皆様の意見をお聴きしながら、現在取り組んでいるところでありますが、今後ますますその連携強化、そして取組みを加速していくことが必要であります。令和5年4月に地域づくり活動センターへ移行した後も、生涯学習、社会教育については、教育委員会と市長部局が連携して推進することが必須であります。</p> <p>一方で、小中学校の教育現場においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、学校運営を継続する「新しい生活様式」に対応する必要があり、その一助となる「教育のICT化」に必要な情報端末や周辺機器等の導入、ICT支援員の配置など、ハード、ソフト両面での整備、支援が継続的に必要となっております。</p> <p>このような諸課題に関し、総合教育会議で協議・調整をすることにより、重要かつ必要な教育施策を、緊密な連携の下、スピード感をもって適格に実現することができるものと考えているところであります。</p> <p>本日の会議の中で、忌憚のない意見を交わさせていただくことによりまして、西予市の教育行政が、よりよく、さらに進展が図られることを期待し、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>協議事項に入ります前に配布しております資料について、説明をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(資料について説明)</p> <p>それでは、協議事項に移らせていただきます。</p> <p>ここからの進行は、西予市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、管家市長にお願いいたします。</p>
------	--

<p>管家市長</p>	<p>本会議を主催する立場から進行を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。そして今日は、2名の傍聴人の方がお見えになられております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、協議事項(1)「公民館の地域づくり活動センターへの移行について」の協議をしたいと思います。教育委員の皆様からのご意見をお願いしたいと思います。</p>
<p>古谷委員</p>	<p>私からはこの協議事項について、お願いや質問をさせていただければと思います。</p> <p>令和5年4月から実施する地域づくり活動センター設置に併せて、西予市の組織機構も見直され、教育委員会においては、「生涯学習課」、「スポーツ・文化課」を廃止し、生涯学習とスポーツ・文化振興を、「政策企画部」の「まちづくり推進課」へ、生涯学習の一部と文化財を、「教育部」の「学び推進課」へ、また、支所「教育課」を廃止し、各支所の「地域生活課」へ再編されると伺っています。</p> <p>市長部局へ移管される生涯学習、スポーツ・文化振興業務について、特に愛媛県教育委員会とのやり取りが、引き続きスムーズにできるような人員配置をお願いしたいと思います。また、センター化され、支所教育課が廃止されることにより、支所教育課が担ってきた、地域と各小中学校との連携や協力体制について、ぜい弱化しないか心配をしておりますが、移行後、具体的にどこの部署が、あるいはどの職員がその役割を担うことになるのか、支所の職員配置や職員数も含め、お伺いしたいと思います。</p>
<p>管家市長</p>	<p>教育委員会から市長部局へ移管する生涯学習、スポーツ・文化振興業務についてですが、現在愛媛県においても、それらの業務は教育委員会ではなく、知事部局である「観光スポーツ文化部」の「まなび推進課」、「地域スポーツ課」、「文化振興課」等が担当をしております。県内20市町のうち、松山市など同様の体制となっている市町もあります。</p> <p>ご質問の中にありましたとおり、生涯学習関係の大部分とスポーツ・文化振興関係を「まちづくり推進課」へ移管することで、市民の皆様や各種団体と連携した地域づくりの推進や、生涯学習、スポーツ・文化を生かした地域活性化などを総合的に推進していきたいと思っております。</p>

<p>古谷委員</p> <p>管家市長</p> <p>木下委員</p>	<p>なお、職員の配置につきましては、今後、業務の精査を進めながら、具体的な人数を調整し、決定したいと考えております。</p> <p>次に学校と地域を結ぶ役割についてですが、地域づくり活動センターが担っていくこととなります。具体的には、各センターの一般行政職員が担当し、各支所の「地域生活課」や「まちづくり推進課」内の地域づくり活動センター推進室が全体を総括する体制にしたいと考えております。総合教育会議なども活用させていただきながら、教育委員会との連携も図っていきたいと思っております。</p> <p>センター化に併せて本庁へ業務を集約し、支所業務及び人員を削減する、今の4課体制から2課体制になることとなりますけれども、ご心配いただいている連携体制等については、各支所でできる体制をつくりたいと思いますし、それを支援する本庁の部署との連携も必要であると思っております。</p> <p>令和5年4月までの準備期間を有効に利用させていただいて、一つ一つ具体的な内容について検討し、スムーズに移行できるようにしていただければと思います。</p> <p>そのように努めていきたいと思っております。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。</p> <p>公民館の地域づくり活動センターへの移行について、8月から市政懇談会を開催され、地域づくり活動センターの説明をしていただいております。また、三瓶町地域においては、分館制度の今後について19の分館ごとにさらに説明会を開催していただいております。</p> <p>西予市地域づくり活動センター推進計画策定に向けての現状や、令和5年4月スタートの地域づくり活動センターの設置までに、市としてどのような準備や取組みをされる予定でしょうか、お伺いしたいと思います。</p> <p>また、公民館が地域づくり活動センターへ移行した後も、行政による地域への支援や援助が不可欠です。各地域の先進的な事例を学んだり、情報交換を行ったりすることが大切ではないかと思います。センター長や地域づくり団体を対象とした研修会等の開催など、スタート前までにその体制づくり、組織づくりをお願いしたいと思います。</p>
-------------------------------------	---

<p>管家市長</p>	<p>地域づくり活動センターのあり方及び公民館分館制度については、本年6月までの1年半に渡りまして、検討を重ねていただいた「西予市地域づくり活動センター市民検討委員会」より、答申をいただきました。それを基にして「西予市地域づくり活動センター推進計画（案）」を作成いたしまして、広報せいよ8月号でその概要をお示しさせていただきました。</p> <p>現在、8月からスタートしております市政懇談会の場で、「西予市地域づくり活動センター推進計画（案）について」、「公民館分館制度の移行について」、「行政の組織体制（案）について」の3点について説明をさせていただき、ご意見を頂戴しているところでございます。また、各地域からの要望により、個別での説明会も実施しております。いただいたご意見を参考にしながら、年度内に計画として策定する予定でございます。</p> <p>令和4年度からは、その計画を基に準備を進めていく1年にしたいと思っており、それぞれの地域ごとに個票を作成していただき、その個票に基づいたセンター化に向けた取組みを進めたいと考えております。また、行政におきましても進捗状況を確認しながら、地域の皆様の活動を支援して参りたいと思っております。</p> <p>また、昨年度より一部の公民館に係長級の職員を配置し、先行して、センターの試験運用にも取り組み、生涯学習分野等において、スムーズな移行ができるよう課題の抽出を行い、関係課において十分に情報共有を図りながら、その課題の改善に向けて協議を進めているところです。</p> <p>本年度においては、全ての公民館主事に地域づくり活動センター推進係としての併任辞令を交付させていただきました。これは、センター化に向けた地域内での検討を進めることや、地域への支援を積極的に行うことを目的としております。</p> <p>次にセンター長や地域づくり組織への研修についてですが、現在「地域人財育成事業」に取り組んでおります。一般公募により応募していただいた方はもとより、各地域づくり組織から推薦いただいたリーダーや地域任用職員の候補者などが受講していただいております。この事業は、来年度も継続する予定ですし、センター化となる令和5年度以降も引き</p>
-------------	---

	<p>続き人財育成に取り組んでいくモデルとなっており、そういう体制を続けていきたいと思っております。</p> <p>令和5年4月の運用開始後は、ご提案いただきましたように、各地域の先進的な事例を学ぶことや、情報交換の場を設けることは必要であると認識しております。この点につきましては、市政懇談会の場でも、情報発信をしてほしいという声が出ております。</p> <p>センター化は、近い将来、確実に到来する深刻な人口減少を迎える地域と行政が手を取り合って、協働でこの問題を乗り越えなければならない手段の一つとして、重要な取組みであると考えております。また、それには教育部局と市長部局が、連携し、横断的に取り組まなければならないものであると考えております。この事業は、西予市にとって大きな挑戦であり、地域にとっても、大変なエネルギーのいる取組みであると認識をしておりますので、重ねてではございますが、行政、そして地域の方と一緒に、大きな改革にチャレンジしていきたいと思っております。これからもいろんなご意見をいただきますようお願いいたします。</p>
木下委員	<p>三瓶町地域の場合、現在の3公民館が5つのセンターとなります。各地域の実情に応じてご対応いただき、センター化がスムーズ進行できますようによろしくお願いいたします。</p>
管家市長	<p>長い歴史のある三瓶町地域の分館制度につきましては、集会所への移行のお願いをしております。</p> <p>その件につきましては、今、各担当が19分館すべてで話し合いを進めております。そういうことを通じ、お互いの信頼関係を保ちながら、西予市公民館分館制度分科会から報告いただいた案の中で、どのような選択をしていただくか、行政も一緒になって考え、お手伝いをさせていただきたいと思っております。今後ともどうかよろしくお願いいたします。</p>
全構成員 管家市長	<p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>それでは、協議事項「(2) 老朽化した学校施設の対応について」に移りたいと思います。教育委員の皆様からのご意見をお願いしたいと思います。</p>
古谷委員	<p>老朽化した学校施設の対応についてですが、市内の小中学</p>

<p>管家市長</p>	<p>校施設については、老朽化が進んでいる校舎や屋内運動場も多いように思いますが、その中でも宇和中学校の校舎については、特に老朽化が進んでいると思っています。</p> <p>私も宇和中学校の出身ですが、私が中学生の頃に使われていた校舎が一部において今も使われており、古いものでは建築から 57 年が経っているとのことでした。</p> <p>そのため、宇和中学校校舎の改築の検討をお願いしたいと思います。また、改築の具体的な計画などがあれば、教えていただきたいと思います。</p> <p>私も宇和中学校に通いましたが、古谷委員が言われたように宇和中学校の古い校舎は、その当時からある校舎となっています。</p> <p>現在、西予市公共施設個別施設計画という計画を作成しております。その中で学校施設だけではなく、多くの公共施設を次の時代の市民に健全な状態で継承することと、今後も効果的かつ効率的に利用して、市民サービスの維持向上を図るため、この計画に取り組んでおります。</p> <p>学校教育関係施設は、令和 3 年 3 月に策定しております。</p> <p>宇和中学校校舎については、大部分で建築後 50 年以上が経過し、著しく老朽化が進んでいますので、令和 5 年度に建物の状態を詳しく調査した上で建替えの必要性を検討し、検討結果に基づいて、令和 7 年度以降にその対応を行う計画としております。若干、すぐにというわけにはいきませんが、そういう準備をしておりますので、その計画に則って実施をしていきたいと思っています。</p>
<p>全構成員 管家市長</p>	<p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>それでは、協議事項「(3) その他」に移りたいと思います。教育委員の皆様からのご意見がありましたらお願いいたします。</p>
<p>梅川委員</p>	<p>私からは、全国的に問題とされております、ヤングケアラー問題について、質問させていただきたいと思います。</p> <p>子どもたちは教育を受ける権利があり、保護者は教育を受けさせる義務があると思っています。調べてみましたら、ヤングケアラーと言われる 18 歳未満の子どもたち、高校生も含まれると思いますが、ヤングケアラーとして位置づけられ</p>

<p>管家市長</p>	<p>る子ども自身が、その状態に置かれていることに気がついていない事例が多いということも言われています。</p> <p>様々な家庭問題等もあると思いますが、西予市内における現況とその対策等があればお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>今ほどもございましたように、当事者としては、そういう認識ではなく、当たり前前の生活の一部という状態であるということも、全国的な傾向としてあると聞いております。</p> <p>ヤングケアラーは、「本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされ、本来守られるべき子ども自身の権利を侵害されていることに、子ども自身や家族が問題であると認識しておらず、自らが支援を求めるケースが少ない状況であるため、まずは早期発見することが重要となります。</p> <p>西予市では、要保護児童対策地域協議会という組織がございまして、毎年、市内各保育所や幼稚園、学校へ訪問し、ヤングケアラーの概念を保護者や職員に周知するとともに、子どもの様子や家庭状況の把握に努めていただいている現状がございまして。</p> <p>現在、市内でヤングケアラーと思われる事案を1件把握しており、家族からの聞き取り等を実施し、子どもの健やかに育つ権利や教育を受ける権利が侵害されていないか確認した上で、学校等関係機関や子ども・女性支援センターとも連携し、子どもにとってより良い支援方法を検討しながら支援をしております。</p> <p>今後も引き続き、学校等関係機関との連携、情報共有により早期把握に努め、適切な支援につなげていけるよう体制の強化を図って参ります。</p>
<p>梅川委員</p>	<p>学校の先生方には負担になるかもしれませんが、子どもたちの生活の中での変化というものに気をつけていただいて、ちょっとした子どもの変化にも敏感に対応していただきたいと思います。</p>
<p>管家市長</p>	<p>今、言っていただいたように、一番は身近な学校だと思えますが、やはり、子育てに関係する各機関、また、地域の民生児童委員をはじめとする、頑張っていただいている方との連携の中で、早期発見や、そういうことが起こらない地域社会の形成に力を入れていきたいと思えます。</p>

<p>全構成員 管家市長 酒井委員</p>	<p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>その他、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>私からは、小学生夢チャレンジサポート事業の継続と予算確保についてお願いをいたします。</p> <p>西予市教育大綱の中で、「夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ」という基本目標があります。平成 29 年度から実施しています、小学生夢チャレンジサポート事業は、その基本目標の趣旨を具現化する事業であると思います。</p> <p>事業の目的は、児童が持っている様々な夢を叶えるために、自ら考えて実行する力を身につけること。そして、その夢実現の過程の中で、ふるさとを愛する心を育むこととなっております、市内の 6 年生の学級、あるいは学校を対象に募集するものです。</p> <p>ここで、昨年度選定された事例を紹介させていただきます。昨年度選定されたのは、野村小学校 6 年生の「“のむらからの手紙” という自分たちで作った歌をたくさんの人に聞いてもらい、笑顔と元気を届けたい。そして、作曲に関わってもらった、INSPiさんと一緒に歌いたい」という夢でした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、児童たちが考えた当初の計画を変更せざるを得ない状況の中で、児童たちは柔軟に可能な限りの取組みをし、自分たちの夢を実現しました。</p> <p>年度末の事業検証会の資料の中で、児童たちからは、「予期せぬ出来事があった時の考え方や対処法を学んだ、野村の良いところを改めて実感した、自分たちの夢実現のために多くの人が関わってくれたことに感謝している」などの学びがあったことの報告がありました。</p> <p>さらに、今年 7 月、野村町で開催された「せいよ 復興まちびらきコンサート」で、作曲に関わってもらった 6 人で構成されるアカペラグループの INSPiさんと一緒に歌っていたのは、既に小学生から中学生になって中学校の制服姿となった子どもたちでした。</p> <p>計画当初の夢を一年越しに叶え、会場にいたすべての人たちに笑顔と元気と喜びを与えてくれたこと、本当に感動的でした。このようにこの事業は大変有意義だと思います。</p> <p>コロナ禍のため、できることが限られたり、各学校の実情</p>
---	--

<p>管家市長</p>	<p>により募集が少なかったりする傾向もありますが、今後もこの事業の継続のために予算の確保をしていただきますよう、この場をお借りして、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>お話いただきました、“のむらからの手紙”ですが、コロナ禍の中で、なかなか前に進まなかった点もあったと思いますが、オンラインの活用や、教育現場の先生、野村地域自治振興協議会の皆さん、野村支所の職員など、様々な方に関わっていただき、力を合わせて子どもたちの夢を叶えるという素晴らしい事業であったと思っております。</p> <p>復興まちびらきコンサートは、野村小学校の昨年度の6年生である今の中学校1年生と、さだまさしさん、Yurica.さんにも一緒にステージに上がっていただき、素晴らしいコンサートになりました。</p> <p>また、そのことに刺激を受けて、大人の方が「野村人胸（のむらじんく）～立ち合い・サシアイ・支え合い～」という野村地域の歌をつくれ、野村の力といった、そういうもののきっかけにもなった夢チャレンジサポート事業だったと思います。</p> <p>小学生夢チャレンジサポート事業の継続については、教育委員の皆様や小学校の教職員の方々等の知恵もお借りし、より多くの学校、より多くの児童が関われるような工夫や改善を行いながら、継続、そして発展できる方向性を、まずは事務局である教育部で十分な検討をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、予算については、財源となっている「子ども教育振興基金」が、年々減っております。厳しい財政状況ではありますが、基金の積み立てなども含め、予算の確保について、できる限り配慮させていただきたいと思っております。</p> <p>この事業は、子どもたちの動きが地域を巻き込むようなことにもなりますし、子どもたちの心に、ふるさとを思う、そして、ふるさとを愛する心が育まれる、素晴らしい事業であると思います。1年に1校というところについては、今のままにしたいと思っておりますが、このようなチャレンジをしていただく機会は確保したいと思っております。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>その他、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
<p>全構成員 管家市長</p>	

梅川委員	<p>先月、教育委員会で、せいよ西学校給食センターの見学と、給食の試食をさせていただきました。調理現場の調理過程も見させていただきましたが、加熱や食中毒を防ぐ対策など、安全安心に給食が食べられるように配慮していただいております。</p> <p>ただ、コロナ禍によって、給食費の予算といったものが厳しくなる面もあるのではと少し心配をしております。</p> <p>給食センターでの説明の中で県産食品の使用割合といったこともありましたが、子どもたちの健全育成のためにも、これからも安心安全でおいしい給食を提供していただければと思います。</p>
管家市長	<p>市内には、3つの給食センターがありますが、地産地消ということで給食の材料については、お米は完全に地元のお米を使っているというように頑張っておりますし、野菜等についてもできるだけ地元のものというように頑張っております。</p> <p>そういう中で、給食費としていただくお金は決まっておりますので、その中でおいしい給食の提供をしていきたいと思っております。</p>
松川教育長	<p>この件について、教育長、何かございますでしょうか。</p> <p>私の方からも、良い機会でありますので、説明をさせていただければと思います。</p> <p>米飯についてですが、せいよ西学校給食センターが稼働するまでは、愛媛県学校給食会をとおして、宇和産のお米を指定して、納入しておりました。</p> <p>せいよ西学校給食センターの稼働後においては、J A東宇和から直に宇和産の減農薬のコシヒカリを納入しております。</p> <p>また、野村中学校の敷地内に新たに完成し、稼働しております、せいよ東学校給食センターでの米飯につきましては、来年4月からすべて地域産のお米を生産者から直接納入するという仕組みづくりを進めております。</p> <p>地産地消という取組みをしていく中では、その食材費がどうしても若干高めになってくることも事実であり、お米についても同じことが言えますが、給食費に影響する部分につきましては、保護者の負担は変わらないという対応で、市の予算において支援をしていただいております。</p>

<p>全構成員 管家市長 松川教育長</p>	<p>一方では、栄養士の先生により、地産地消について日常的に着目をしながら取り組んでいただいてもおります。徐々にではありますが、あらゆる品目において一つずつ、地産地消の方向で進めているという状況でございます。ご理解をいただきたいと思ひます。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>その他、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>私から市長に、お願いをさせていただきたいと思ひます。</p> <p>今現在、小学校の再編につきましては、宇和町地域を除いて再編が整っているところでございます。宇和町地域につきましては、過去に策定しました西予市小学校再編計画を見直すということになっており、現在、西予市宇和町地域小学校再編検討委員会を立ち上げ、私の方から検討委員会に諮問をさせていただいている状況です。</p> <p>既に4回の検討委員会を開催していただきまして、前向きに検討がなされていると聞き及んでいるところであり、今年度末には、答申をいただく予定となっております。その答申を踏まえた中で、教育委員会として、階段を一段ずつ登りながら正式な再編計画に結びつけていくという流れになっていくと思ひます。</p> <p>その中において、どうしても財政的な負担を考慮しなければならぬ事案が必ず発生してきます。私、日頃から、「全ての原点は教育にある」と思っているところでございます。どうか、教育への投資を惜しまないように、よろしくお願ひ申し上げます。</p>
<p>管家市長</p>	<p>教育長から宇和町地域の小学校再編の話がありました。そのことにつきましては、今年度末に答申をいただくということで、その検討委員会でのご意見など、私の方にも情報として入れていただけたらと思ひしておりますので、そのことを十分に受け取りまして、次のステップに進みたいと思ひます。</p> <p>投資の話がありましたが、先ほどの、宇和中学校の校舎のことも、令和7年度に調査の結果を踏まえて何らかの行動を起こす考えがあるというお話をさせていただきました。そういうものも含めながら、また、他の小中学校の中にも、年月が経過したところや、修繕をしなくてはいけないところも出</p>

<p>全構成員 管家市長 全構成員 管家市長 事務局 管家市長</p> <p>山崎課長</p>	<p>てきておりますので、そういう教育的な予算については、投資を惜しむことなく、将来の西予市を担う子どもたちのために、有する限りの投資をさせていただきたいと、そのように思っております。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>その他、ご意見がありましたらお願いいたします。 (特になし)</p> <p>事務局から何かありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>それでは、これで協議の場を閉じたいと思います。協議にあたりまして、様々なご意見を頂戴したこと、感謝申し上げます。皆様のご意見を今後の教育行政の中に生かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第1回西予市総合教育会議を閉会します。</p> <p>本日は、貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。 (午後4時27分閉会)</p>
--	---